平成29年6月　№277

# 学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

## 立ち止まってあいさつ

校　長　浮津　健史

朝校門のところで登校する子どもたちを迎えます。元気に走って学校に来る子どもたちもたくさんいて、学校が楽しいところだということがよくわかります。また、高学年の子どもたちが1年生と手をつないで仲よく登校する姿。そんな微笑ましい登校風景の中、本校の子どもたちは校門のところでしっかり立ち止まってあいさつをすることができています。走って登校してくる子どもたちも校門のところで急ブレーキをかけ、しっかり立ち止まってあいさつをしてくれます。高学年の子どもたちのしっかりとしたあいさつする様子を見て黄色いランドセルの１年生が真似てあいさつするのも素晴らしい光景です。このことについては、校長着任当初非常に驚いたと同時に非常にうれしく感じました。また、朝保護者の方々も子どもたちと一緒に校門まで来てくださいます。そんな時保護者の方も立ち止まってあいさつしてくださったり、中には子どもたちに「立ち止まってあいさつでしょ。」と声をかけてくださったりしています。

そうした保護者のご協力のおかげで本校の子どもたちに、「立ち止まってあいさつ」するという素晴らしい習慣が身についているのだと感じました。

ちなみに、当たり前ですが子どもたちの手本である本校の教職員も朝しっかり立ち止まってあいさつをしてくれています。「立ち止まってあいさつする」ことは本校の決まりとして年度当初生活指導主任から話がありましたが、「立ち止まってあいさつ」はこれからも本校の伝統として継続していきたいと思っています。

また、あいさつについてはこんな素晴らしい話も保護者から伺いました。以前お子さんに学校に登校するまでに何人の人にあいさつをしたかを尋ねると、５０人という返事が返ってきたそうです。この５０人の中には、たくさんの友達もいるでしょうが、友達以外には登校までに出会う地域の方々もたくさんいるとのことでした。この築地の町に、朝子どもたちの元気なあいさつが響くのはとても素晴らしいことだと思います。あいさつは、心を豊かにするといいます。「おはようございます」「いってきます」から夜の「おやすみなさい」までいろいろなところで心のこもったあいさつのできる子どもたちに、これからも保護者の皆様のご協力を得ながら育てていきたいと思います。

## ６　月　の　行　事　予　定

１日(木)　社会科見学(４年生)　センター教室(３年生)
２日(金)　たてわり班遊び
４日(日)　日曜学校園公開日　引き取り訓練
５日(月)　振替休業日
６日(火)　委員会　安全指導
７日(水)　スポーツテスト　校内研究会(６年２組)
　　６年２組以外４時間授業
８日(木)　プール開き
９日(金)　社会科見学(３年生)
１２日(月)　全校朝会　クラブ　白鶴田植え(５年生)
１４日(水)　区研究授業(４年２組)
　　４年２組以外４時間授業
１５日(木)　短縮６時間授業
１９日(月)　全校朝会　クラブ
２０日(火)　保幼小合同研修会のため
　　短縮４時間授業(１・２年生)
　　短縮６時間授業(３～６年生)
２１日(水)　区研究会のため４時間授業
　　劇団四季観劇(６年生)
２２日(木)　京築まつり集会
２３日(金)　短縮６時間授業　京築まつり
２４日(土)　土曜授業日
２５日(日)　開校記念日
２６日(月)　全校朝会　６時間授業(４～６年)
　　読書週間(７月７日まで)
２７日(火)　京橋朝海幼稚園研究発表会のため４時間授業
　　高学年から低学年への読み聞かせ
２８日(水)　セカンドスクール(４年生)　３０日まで
２９日(木)　自転車教室(３年生)　親子交流給食(１年生)
３０日(金)　保護者会(１～３年生)

# 最高学年として（６年生）

ぼくは、最高学年として二つの決意があります。一つ目は、楽しく学校生活を送ってもらえるように、低学年に優しく接することです。二つ目は、自分で考えて正しい行動を取ることです。五年生のときに学んだことや反省を生かしたいです。この二つの目標を特に中心にして６年生として頑張りたいと思います。最高の思い出を作り、楽しい学校生活を送りたいです。

○○　○○

私が最高学年としてがんばりたいことは二つあります。一つは「あいさつ」です。５年生のときは、相手にあいさつをされてから、自分もあいさつをしていたのでこれからは自分からあいさつをしたいです。もう一つは努力をし続けることです。大変なことでも努力し続ければできることが増え、自分にとって良いことがあると思うからです。

○○　○○

私は、学校生活で頑張りたいことが二つあります。一つ目は、縦割り班の班長として、低学年をリードすることです。みんなが笑顔になれるように、声かけなどを意識して行いたいです。二つ目は、同学年の友達と仲良く前向きに色々なことに取り組みたいです。そして、卒業するときには、この学校に来て良かったなと思って終わりたいです。

○○　○○

小学校生活最後の１年となり、ぼくは、一日一日を大切に過ごそうと思った。なぜなら、全てのことが最後になるからだ。そこで、三つの目標を立てることにした。一つ目は、勉強をがんばること。二つ目は、マーチングを成功させること。三つ目は、下級生のお手本になること。全てのことを達成するには、今何をすれば良いかを考えて行動したい。

○○　○○

***「インターネット社会における子どもの安全」***

生活指導主任　齋藤　直子

「デジタル　タトゥー」という言葉をご存じですか？　一度ウェブ上にあげた個人情報は消しきれずに残り続けるということからできた言葉です。良くない個人情報が残り、就職や結婚にまで影響を及ぼす時代になり、「入れ墨（タトゥー）」という言い方は、その恐ろしさをよく伝えてくれています。

近年、全国でも東京都でも生活指導上、最も力を入れていることの一つが、インターネットの利用の仕方です。起きている主な問題点は、

長時間利用→生活時間の乱れ、成績の低下、ゲームの課金等による高額請求

負の情報・危険情報への接触→人間形成途上の子どもが悪い影響を受ける（潜在的洗脳に利用する）

個人情報流出→写真、住所、保護者情報等（性犯罪被害へつながるケースも）

ネットいじめ→２４時間いじめが続き逃げ場がなく深刻

（犯罪となったり、損害賠償請求されたりしたケースも）です。

子ども時代のちょっとした気持ちから、一生残る傷を負わないために、親（ネットトラブルの最終責任者、損害賠償対象）ができることは、①利用時間や閲覧内容の制限、②段階的な保護者の管理下での利用、③ネットリスク教育（正しくこわがらせて正しく使わせる）です。③は学校のセーフティ教室でも行っています。

最近は利用時間等の制限のできる機種もあり、東京都教育委員会によるアプリも出されています。大人の側も、勉強して、子どもたちの安全を共に守っていきましょう。